茅野市社会福祉協議会広報紙 ―――― ふみだそう、福祉でまちづくり ――――

やらざあ

Vol.159
2023年10月号

「夏のボランティア体験 サマーちゃれんじ2023」を実施しました！

新型コロナウイルスが５類に移行したこともあり、今年は大変多くの方にご参加いただきました。
市内の福祉施設、保育園、幼稚園、地域で活動するボランティア団体のみなさんにご協力いただき、小学生から社会人まで94名の方がボランティア活動を体験することができました。ご協力ありがとうございました。参加されたみなさんからの感想を一部ご紹介します。

～イベントのお手伝い～
みんなに喜んでもらえてうれしかった。自分たちも楽しみながら活動できた。

～子どもたちと水遊び～
子どもたちから“あそぼ！”と声をかけてくれてうれしかった。一緒に楽しく遊ぶことができた。

～レクリエーションのお手伝い～
将来は、介護の仕事に就くことも考えています。
高齢者の方との関わり方など学ぶことが多かった。

～募金箱作りに挑戦～
たくさんの人の目にとまるように、カラフルにしたり、折り紙を貼ったりして工夫しました。

～子ども食堂でお弁当作りのお手伝い～
もらった人が喜んでくれるのを楽しみにひとつひとつ丁寧に詰めました。

10月より赤い羽根共同募金が始まります。
作成した募金箱は市内の店舗に置かれますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

茅野市社協ボランティアまちづくりセンターでは、「ふくし～ふだんのくらしのしあわせ～」を自分ごとにするきっかけづくりや、お互いさまの気持ちの芽を育て、地域全体に広げていく活動に取り組んでいます。
今回のサマーちゃれんじを通じて、自らボランティアのはじめの１歩を踏み出してくれた方も多く、この体験が、みなさんの福祉への関心や思いやりの気持ちの成長につながることを願っています。

シリーズ 社協が取り組む福祉教育

がっこう（カケル）×ふくし

茅野高等学校　思いやりや自ら気づく力を深める福祉教育

茅野高等学校では、キャリア学習や地域と連携した様々な体験活動を重視し、３年間を通して各自の進路実現に向けて具体的な学習を実践しています。１学年では、生徒が様々な人とコミュニケーションをとり、周りの人、ことへのさりげない気遣いや思いやり、助け合いの心を育む基礎力を養います。さらに、地域のために何ができるかを考え、やがては地域を担う人材に育ってほしいという願いを込めて、福祉教育を実施しています。

体験を通した障害への気づき

《車いすバスケとボッチャの体験》

- 体が不自由でも楽しめるスポーツがあることを知った。
- 車いすの操作が難しかった。コントロールや筋力が必要だと感じた。
- 車いすはいつもと違う目線になったので障がい者の方は苦労していると感じた。
- 車いすバスケもボッチャも、チームワークを大事にして楽しみ合うことが大切だと思った。

《音の無い空間で言葉を使わずに相手に伝える体験》

- 自分の名前をジェスチャーや物を使って伝えるのは難しかった。
- 相手にどのように伝えればよいか、きちんと伝わっているかが分からなかった。
- 伝えるときは手話だけではなく、顔や口の動きをみて伝えることが大切。
- 相手の気持ちになって考え行動することが大切だと気づいた。

福祉について聞いてみました！

小口校長先生

◇「福祉」のイメージとは
- 様々な方が、気持ちよく暮らせるようにしていくこと　・お互いに助け合うこと

◇「福祉」で学んでほしいこと
- 周りの人、ことに気を使えるような生活ができる人になってほしい。
- 福祉の体験を通して、普段の生活での、友達、家族、地域の人とのコミュニケーションを学んでほしい。

◇生徒さんに将来、どんな人になってほしいですか
- 様々な人たちへさりげない気づかいや、助け合いができるような人になってほしい。
- 周りの人にお互い支えられていることを知り、思いやりを持って接することができる大人になってほしい。

伊藤先生
（１学年担任）

◇「福祉教育」に期待すること
- 日常の生活の中で様々な人を思いやる気持ち、技術的なことだけでなく、福祉のマインドを持ってほしい。
- 福祉の学びを通して、広い視野で物事を捉える力をつけてほしい。

☆授業後の生徒さんの様子☆
- 車いすバスケ以外のパラスポーツにも取り組む生徒が増えた。
- 福祉に関する授業に積極的に取り組む生徒が増えた。

～茅野高等学校での福祉教育への思い～

１学年が行う福祉教室では、障がいのある方との交流を通して、日常の中で「ふだんのくらしのしあわせ」のために、自分たちにできることは何かを考え、行動することを目標に行っています。社協は体験学習の１つとして、今後の進路選択に向け福祉に関心をもっていただけるように取り組んでいます。

茅野市社会福祉協議会役員の改選について

役員の改選期により役員（理事・監事）の交代がありましたのでご紹介します。
社協の活動は、地域の様々な団体と連携・協働により推進するため、社協役員には、地域の幅広い分野のみなさんに参画いただいています。

役員（理事10名・監事2名）
任期：令和5年6月23日から令和7年6月定時評議員会まで　（敬称略・順不同）

役職名	氏名	
会　長	今井　敦	茅野市長
副会長	小尾　定良	豊平地区福祉推進委員連絡会代表
副会長	田村　満理	茅野市民生児童委員
常務理事	竹内　武	茅野市社会福祉協議会事務局長
理　事	入倉　一郎	防災ネットワークちの代表
〃	北沢　喜一	玉川地区社会福祉協議会会長
〃	内藤　容成	公立諏訪東京理科大学講師
〃	矢崎　敏臣	茅野市総合計画審議会会長
理事（新任）	鍋島　志穂	リバーサイドクリニック所長
〃	半田　晴奈	グリーフケアこころアドバイザー
監　事	北原　隆幸	税理士法人柳澤会計
監事（新任）	唐澤　洋子	元選挙管理委員会事務局・監査事務局・公平委員会事務局長

第60回　茅野市社会福祉大会

「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を目指して

今回60回の節目を迎える茅野市社会福祉大会。社会福祉に貢献されたみなさんを表彰するとともに、「人口減少社会における持続可能な地域福祉活動を考える」機会として、社会福祉大会を計画しています。

3年以上続いた新型コロナへの対応も転換期を迎え、大勢のみなさんのご来場をお待ちしています。

【日　時】　**令和5年11月25日（土）**
13時30分から15時40分

【会　場】　マリオローヤル会館
（JR茅野駅前ベルビア3階）

【内　容】　第1部　社会福祉貢献者表彰
第2部　シンポジウム
「持続可能な地域福祉の推進を考える（仮）」

今年も『ひとにぎりのお米（支援米）』を募集します!!

（期　　間）　**10月2日（月）**から**12月1日（金）**まで
（募集予定）　1,000 kg
（受　　付）　茅野市社会福祉協議会 事務局《茅野市ひと・まちプラザ2階》
※ 直接、社協事務局へお持ち下さい
（受 付 物）　うるち米（新米、古米は令和4年度産のもの）
※ 籾での受付はできません
※ 玄米、もち米、野菜は受付できません
（支 援 先）　茅野市内の生活で困っている世帯、子ども食堂等を運営する支援団体　など
（問合せ先）　**茅野市社会福祉協議会　Tel（0266）73－4431**

ひとりで悩まず まず相談

結婚相談（予約制）

※相談希望日の２営業日前までに予約が必要です

結婚を望まれる方の相談

毎月第１・３土曜日　午後１時～午後４時
毎月第２・４金曜日　午後６時30分～午後８時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

※前日の午後４時までに予約が必要です

身近な法律に関する相談

毎月第２水曜日　午後３時～午後５時
相談員：司法書士

相談会場は
社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ２階）になります。
☎（0266）73－4431

上記以外の様々なお困りごとも社協にご相談ください。

ご寄附ありがとうございました

令和５年６月１日～令和５年７月31日まで

【寄贈】

宮川新井愛の会	清拭布26.8kg
(有)中南信折込センター	新品電気毛布10点
匿名	新品綿毛布・タオル等
匿名	裁縫用・ハギレ等の布10kg

【寄附金】

匿名	2,000円

【フードドライブ】

野村ユニソン㈱・ナンシン機工㈱	インスタント麺・レトルト食品・お菓子等181点
匿名	缶ジュース30個
匿名	米54kg

みなさんからいただいたご寄附は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。
※この他にも匿名で多くの物品やご寄附をいただいております。

社協広報紙 やらざあ Vol.159
社協HP
2023年 10月号
発行／社会福祉法人　茅野市社会福祉協議会
編集／やらざあ編集委員会
〒391-0002
茅野市塚原２－５－45　茅野市ひと・まちプラザ２階
TEL（0266）73－4431　FAX（0266）73－8030

【募金箱を置いてくださるお店や企業を募集しています】

サマーちゃれんじで募金箱を６つ作成しました。
12月20日（水）まで募金箱設置にご協力いただけるお店や企業様がございましたら、ご連絡ください。
茅野市社会福祉協議会：（0266）73-4431

※募金箱の大きさ：横12cm×奥行９cm×高さ17cm

読者の声

- 金田和尚のつぶやきを読んでためになりました。
（宮川　80代女性）
- 年を取ると健康のことが気になります。金田和尚のつぶやきを読んで自分より人を立てるということが、今の世の中に特に大事なことだとつくづく思います。いつも楽しみに読んでいます。社協さんには道徳的なことを取り上げてもらい感謝しています。
（塚原　70代男性）
- 金田住職のつぶやきを楽しみにしています。（泉野　30代男性）
- 産まれてくる子供さんの数が少なくてびっくりしました。それだけお年寄りの数が多いということですね。小学校も統合する日が近そうですね。気持ち複雑です。
（泉野　60代女性）

今回のクイズ　愛　称

定時定路線の路線バスに替わる茅野市の新しい移動サービスの愛称は？

① やらざあ
② いかざあ
③ のらざあ

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協（やらざあ編集委員会）までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で３名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り　令和５年10月11日（水）

前回のクイズの答え　299人

当選者

濵　今朝満さん（宮川）　松澤美紀子さん（泉野）
柳澤　夏樹さん（泉野）

当選された方には図書カードをお送りいたします。
ご応募ありがとうございました。

社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。